

1月号

JANUARY 2025

MJIA

M A G A Z I N E



公益財団法人日印協会

住 所：〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6 麹町保坂ビル6階
電話 番号：03-6272-4408



<https://www.japan-india.com>

世界をつなぐ、あたらしい空へ。



3

12

14

15

16

17

インドの良き食文化をお伝えする事が私たちの使命です。(全国配送承ります)



シタールのインドカレー
変わらぬ人気のカレー
をそのままのお味で、
ご家庭へ。

社長の増田泰親は学生時代、当時九段にあった印度料理アジャンタでアルバイトとして入店し、大学卒業後はコックとして修業を積み、1981年に千葉県で印度料理シタールを創業いたしました。



アルフォンソマンゴドリンク
アルフォンソマンゴ
といえばシタール。自
信ある逸品です。

社長の増田泰親が情熱を傾けるアルフォンソマンゴから作る無添加ドリンクです。毎年インドの農園へ行き品質を確認して原料となるマンゴを輸入しています。



野生黒蜂蜜 ハンティング
インド メルガートの
自然保護区でハニーハ
ンターによって採集さ
れる貴重な蜂蜜です。



おうちでつくれるチャイセット
インドのパザールで飲
む味そのまま！おうち
で簡単チャイキット。
マサラとレシピ付。



味と香りの脚を奏でる since1981

印度料理シタール

千葉県千葉市花見川区検見川町 1-106-16
mail : info@sitar.co.jp

■上記以外の商品も多数取り揃えております。

■個人様、企業様向け季節のギフトなどのコーディネートもご相談承ります。

「マンモハン・シン首相の死を悼む」

公益財団法人日印協会 理事長 齋木 昭隆



マンモハン・シン首相には、私が大使としてインドに駐在していた、2011年3月から12年9月までの1年半という短い間に、何度もお目にかかる機会がありましたが、常に穏やかな表情で、また物静かな口調で日印関係の重要性について語っておられました。

日印首脳会談や日本からの要人との会談で、シン首相がいつも述べておられたことは、(1)デリー・メトロ(地下鉄)は、日印協力の輝ける象徴です(a shining symbol of Japan- India cooperation)(2)日印の協力関係は無限大です (Sky is the limit of our bilateral cooperation) というフレーズでした。

2011年3月11日に起きた東日本大地震の直後に、シン首相は犠牲者への哀悼の意を表したいとして、記帳のため大使公邸を訪れてくれました。そして、被災者支援のために、インドは政府国民を挙げて出来る限りのことをすると約束してくれました。震災の被害の様子がインドのテレビでも刻々と報じられている中で、当時のマタイ外務次官から私に電話があり、「シン首相からの指示があって電話を差し上げている。いま直ぐにインドとして被災者のために何が出来るか、教えてほしい。」との連絡でした。

これに対して私から、咄嗟に「被災地はまだ冬の厳しい寒さの中にあるので、被災者達のために出来るだけ多くの毛布とペットボトルの水を早急に送っていただきたい。」と答えたところ、マタイ次官は、「承知した。直ちに手配する。」と述べ、国防省と連携して、大量の毛布と水のペットボトルを軍用機で搬送する手筈を整えて実施してくれたことを、今なお感謝の気持ちと共に思い出します。

また、シン首相が何度目かの来日をされたとき、当時の安倍総理大臣は総理公邸でシン夫妻と自分達夫婦の4人だけの夕食会でもてなしたいとの申し出をされ、シン首相もこれを快諾されました。当時、私は外務次官でしたが、安倍総理から陪席を求められ参加しました。安倍夫妻は食事の献立に非常に細やかな心配りをされ、おでんや菜食主義者のご夫妻の口に合う様々な料理をふるまい、シン首相夫妻も非常にリラックスした雰囲気での夕食会をととても楽しんでいる様子でした。

今では世界中どこを見渡しても存在しない「哲人の風格」を持った政治指導者を喪ったことは、インドにとって、また、日本にとっても世界にとっても大きな喪失です。

ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、故人の御冥福をお祈りいたします。

「スズキ株式会社 鈴木修氏 (前日印協会副会長) の死を悼む」

堂道秀明 元駐インド大使 スズキ株式会社 社外取締役



スズキ株式会社提供

客年12月25日、鈴木修さんが亡くなられた。衷心より哀悼の意を表したい。鈴木修さんはスズキ株式会社の社長、会長を40年以上勤められ、この間我が国自動車メーカーでも最小であったスズキを世界のスズキに押し上げた類稀なるリーダーであった。同時に、当時は注目されることがほとんどなかったとも言ってもいいインドへの進出をインド政府の要請に応じて決断し、インドの自動車産業の生みの親としてインドでは最も良く知られかつ愛された日本人である。日印協会でも永年副会長を務められた。

私が鈴木修会長(当時)に初めてお目にかかったのが2007年、大使としてインドに赴任してまもなくの12月であった。会長がデリーにあるインド商工会議所連合会(FICCI)で講演されるというので会場に出向いた時のことだ。ご挨拶すると手招きされ、こう言われた。「申し訳ないが、今日この講演後すぐに帰国しなければならない。娘婿が危篤なんだ」娘婿とは小野浩孝さんのことだ。鈴木会長に乞われ通産省役人から転身し専務をされていた。デリーの他ムンバイなどで公演予定だったがデリーだけの講演で勘弁してもらい帰られると言う。いくらでも延期はできた筈なのにこういう人がおられるんだと強烈な印象とともに尊敬の念を深くした。

それから会長がインドに来られる度ごとにお会いし、実に多くのことを教えて頂いた。製造業の生産や販売の現場のことは全く知らない私は会長の言われる一言一言がどこにも書いてない深い知恵のように思えた。そこである日会長に申し上げた。「日本経済新聞の私の履歴書に書かれてはとうですか」すると会長はにこっと笑い「スズキは中小企業ですヨ。私の履歴書ではなく本を出します。」それが2009年に出された「俺は、中小企業のおやじ」だ。

私は2011年に駐インド大使を退任したが鈴木修会長との交流は続いた。何よりも嬉しかったのが毎年1月末に届く年賀状だった。葉書1枚にびっしり。「公」と(私)があり(私)ではご自身の健康のこと、ひ孫さんが沢山できて嬉しいが名前を覚えるのが大変なこと、エージシュートを含めゴルフのことなどだったが、スズキが排出ガス・燃費試験において法規で定められている方法とは異なる測定方法を用いた不正行為をしていた事が明らかになった際には「お詫びの為これから日本全国のディーラーを回る。不思議なことにかえってやる気がでて来ました」と書かれていた。その発想と行動力に驚かせられた。

鈴木修さんは日印協会の会長を勤められた森元総理、亡くなられた安倍元総理、菅元総理とも親しくされていたが、インドではナレンドラ モディ首相と格別親しくされていた。2023年、マルチスズキの40周年記念行事がグジャラート州ガンディーナガールで開かれた。モディ首相が出席の為デリーから駆けつけてくれた。会場の入り口で待っていた相談役(当時)を見つけると大きな声でこう言われた。「ハローヤングボーイ」当時相談役は93歳。皆大笑いだったが、これ程親しみを込めた言葉を私は知らない。この時びっくりしたことがもう1つあった。グジャラート州から帰国の為デリーのインディラガンディー空港で手荷物検査場を通過しようとしていた時のことだ。鈴木修さんの姿を見て検査場の全職員が敬礼をした。おそらくガンディーナガールの式典でモディ首相と相談役の姿をテレビで見たのではないかと思ったが深く感動した。

多くの方が鈴木修さんのお人柄に触れ、魅惑されそして今はその死を悲しみ、最後にもう1度お会いしたかったと思われておられることと思う。私もその一人だ。晩年相談役は言葉が不自由となり、筆談をされていた。赤インクで丁寧に書かれ、終わるとにこっと笑う。その笑顔が忘れられない。

スズキは後日お別れの会を開くという。多くの方が最後のお別れに来られることと思う。皆共通した思いだろう。「鈴木修さん ありがとうございます。」

企業のご紹介

ティー・アイ・シー協同組合

ティー・アイ・シー協同組合とは

- ・認可省庁：内閣総理大臣、経済産業大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣 国土交通大臣、環境大臣、金融庁長官、法務大臣
- ・当組合は、事業協同組合の制定趣旨である、企業振興の一端を担うことを使命とし、相互扶助の精神に基づき組合員企業の事業に関連した共同事業を行い、経営の向上に寄与することを目的とした、多業種の事業協同組合です。
- ・1990年12月（平成2年）に設立され、現在、組合員企業数は 1,600社を超えています。
- ・当組合の認可地域は、日本全国（47都道府県）です。
- ・主たる事業は、外国人技能実習生/特定技能外国人の受入れおよびETCカード発行（高速道路利用料金割引精算）です。

ティー・アイ・シー協同組合HP→



ティー・アイ・シー協同組合のコンセプト

「優秀な技能実習生・特定技能の受け入れにより、企業の職種各分野で外国人の育成に基づき、受入れ人材確保を以って日本国内のすべての企業の共生社会の実現に寄与する。」

制度草創期（1998年）からの受け入れ実績

1990年の組合設立後、1998年に研修生の受け入れが組合に認められたときから制度を研究し、開始当初から第1次受入機関として研修生の受け入れを開始しました。

又、2017年11月1日施行の新制度では一般監理事業優良監理団体として「監理団体許可書」を得ており、特定技能を含む業界での長い経験と実績を持っています。

（これまでの受入れ企業数463社、受入れ総人数7,022名）

なお、インドからは2010年より始まり2014年4月7名の企業単独型受入れ入国支援が当組合関連団体の“日本マルコ”にてスタートです。今後は日本マルコを軸に一層インドからの人材受入れに注力する計画です

日本マルコHP→



法令遵守（コンプライアンス）の対応

制度の趣旨に鑑み、専門家の顧問弁護士の指導のもと、組合として法令遵守に取り組むだけでなく、実習実施者の皆様にも法令遵守をご理解いただき、共に安心した事業運営を実施しています。

実習実施者との信頼関係構築

法令遵守や技能実習生・特定技能の保護に手厚く配慮しつつ（技能実習生保険・特定技能保険の取扱い含む）、実習実施者の皆様に密着し、それぞれの個別ニーズ（言語・入管関係・問題・依頼等）に応える対応を取っています。

実習実施者様へ事業運営最適化の提案や、満足度を高める取組、又、緊急時に短時間に訪問できる体制を構築しています。現在、東京（中央区・武蔵村山市2拠点）を始め、北海道、仙台、名古屋、滋賀、神戸、九州の全国8拠点において、北は北海道から、南は沖縄まで、監理登記事務所に於いて運営を行っています。

世界各国（11カ国）からの受入れ

実習実施者様からの希望国要望にお応えできる対応を取っております。

【具体的取り組み国】

中国・ベトナム・タイ・フィリピン・ラオス・カンボジア・ネパール・ミャンマー・インドネシア・ウズベキスタン・インド

JITCO等関係機関との信頼関係構築

公益財団法人国際人材協力機構（JITCO）賛助会員として関係機関から法令遵守による制度運営と作成書類の高い信頼と評価を得ています。

これにより制度関係情報について、迅速・正確な情報を得ることができると共に、当組合からの依頼にも積極的な対応で応えて頂いています。

技能実習生・特定技能の保護相談対応

母国語対応：日本語・英語・中国語・ベトナム語・タイ語・ネパール語・タガログ語・ミャンマー語・インドネシア語

対応は24時間365日体制で、技能実習生保護の相談対応を行っています。

外国人受け入れ初期費用等（金融事業）の資金貸付

受入企業様のニーズに応え、低利での貸付を行います。

技能実習生・特定技能に対する『修得技能等評価』の取組み

平成22年(2010年)の外国人技能実習制度の改正において、同制度の目的である効果的、効率的な技能等の移転のために、受入れ企業に対し、技能実習2号1年目終了時、同2年目終了時などの技能実習の節目ごとに、修得技能等評価の実施が求められることになりました。

修得技能等評価の重要性に着目した当組合では、法務省指針で示された「自主的な点検による修得技能等評価」を行っている【一般社団法人国際人材育成労務管理協会】の評価（労管協評価）を活用し、修得技能等評価の取組を始めました。

労管協評価は、技能実習生を直接指導する技能実習指導員による評価の手法を取っており、必須業務に加えて責任感、協調性等日本の職場で修得すべき能力についても評価を行っています

これまでの実績は8ヶ国、約50作業、企業数約570社、技能実習生数約3,030名に上ります。この評価により、多くの技能実習生が優れた人材に育成され、企業の発展に大きく貢献しています。

当組合では、平成29年(2017年)11月施行の技能実習法による新たな技能実習制度においても同制度の趣旨はこれまでと変わりがないこと、技能実習指導員による評価が法文上明記されたこと等から、引き続き技能実習生の人材育成、企業の一層の発のため、同評価の取組を積極的に推進しております。

また特定技能についても、企業からの要望に応じ修得技能等評価の取組を始めております。

外国人技能実習生修得技能五輪大会への参加

外国人技能実習制度の目的である効果的、効率的な技能等の移転の更なる進展を目指して、毎年11月に東京と名古屋で開催される外国人技能実習生修得技能五輪大会に、平成25年(2013年)の第1回大会以来連続して参加しており、多くの受入れ企業、技能実習生が参加しております。

同大会では、発表テーマを技能等修得に限定しており、傘下の受入れ企業において、労管協評価等何らかの評価の方法で修得技能等評価を受け、技能等修得の面で優れた実績を挙げた技能実習生による技能等修得の過程での努力・工夫・感想などの発表とそれに対する表彰を行っています。

これまでに11回開催しており、参加者総数は約2,000名、発表した技能実習生は238名となっています。

当組合の技能実習生は、毎年発表を行い入賞して、金・銀・銅メダルを獲得しています。

主催 一般社団法人国際人材育成労務管理協会（労管協）
後援 中央職業能力開発協会（JAVADA）
公益財団法人国際人材協力機構（JITCO）
一般財団法人外国人材共生支援全国協会（NAGOMi）

HP→



(金・銀・銅メダル)

外国人労働者に対する「日本在職記録証」発行の推奨

日本国内には、技能実習を目的とする技能実習生を始め、外国人労働者が約200万以上います。労管協が取り組んでいる、「日本在職記録証」については外国人労働者にとって日本での在職の経験は生涯の記念であり誇りや自信に繋がるもので、将来母国で、就職、転職する際、日本での職歴に関する資料としても活用できることから、その発行を推奨しています。



日本語弁論大会(弁論大会)への参加

全国ビジネスサポート協同組合連合会（NBCC）が主催する、技能実習生の日本語能力向上と意識高揚さらに相互交流機会を提供するため、毎年、札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡の7会場で、「全国外国人技能実習生日本語弁論大会」に参加します。これまでに81回開催しており、参加者総数は約17,000名にもなっています。この際に、日本語能力試験合格者に奨励金と賞状を授与し、その榮譽を称えています。

主催 全国ビジネスサポート協同組合連合会（NBCC）

HP→



後援 経済産業省・厚生労働省・法務省・外務省・農林水産省・国土交通省・文化庁・
中国大使館・ベトナム大使館全国中小企業団体中央会・公益財団法人国際人材協力機構・
一般財団法人外国人材共生支援全国協会

日本語能力試験合格者奨励金支援

当組合では、日本語能力試験合格者に対し、各レベルに応じた賞状と奨励金を授与し日本語能力の向上を計っています。



外国人技能実習生受入事業に係るISO9001の取得

組合として、外国人技能実習生受入事業に係る、世界的品質基準であるISO9001(品質マネジメントシステム)を取得し、更に1年に1回定期的に監理団体が行う技能実習の適正実施のための各種の専門的サービス詳細につき、外部の審査機関による厳正なる審査を受け認証の更新を行っており、組合の質的レベル向上に努めています。

文京学院大学（大学院）との提携関係を構築

2024年4月に新設設置された文京学院大学大学院/福祉医療マネジメント研究科（専門職大学院）に関して、同大学院関係者からの要請で、会長の畷ヶ山がアドバイザー・メンバーに就任しました。

これを機に、技能実習生・特定技能のモチベーション向上のために、同大学と提携により入学を志願する人材を推薦することを決定しました。

既に、当組合関係の特定技能外国人2名（共に2022年に“修得技能評価”を取得済み）が合格し、4月に入学し働きながら福祉医療マネジメントを研究しています。

uitea
 CHANERIE GROUP
 コーラックダ茶種
 チャムラージ茶園
 日本総代理店
Makaihari
 マカイハリ茶園
 日本総代理店

Mango
Coffee
Shop in New Delhi

インドの「おいしい」「安全」を
 日本へお届けしつづけ、24年。

Makaihari
 The Best of the Best
HAPPY HUNTER
 INDIA

有限会社マカイバリジャパン (マカイバリ茶園アジア・日本総代理店)
 東京都中野区沼袋4-38-2 Tel: 03-5942-8210 Fax: 03-5942-8211 makaihari_japan
 tea@makaihari.co.jp www.makaihari.co.jp
ISHII TRADING PRIVATE LIMITED (インド会社)
 552 Hauz Khas Main Market, New Delhi-110016, INDIA info@ishii.co.in

元ネルー大学教授プレミアム・モトワニ氏がメールマガジンにてインドからお届けする「インドの今」。
 ご登録は、マカイバリジャパンのホームページから。 www.makaihari.co.jp

11
 ガネーシャ通信

グジャラート州

概要

- * 州都：ガンディーナガル
- * 人口：約6,044万人（2011年国勢調査）
- * 面積：19万6024km²（県（District）：33）
- * 識字率：79.3%
- * 主要言語：グジャラーティー語（州公用語）、
ヒンディー語、シンディー語等
- * 宗教：ヒन्दゥー教88.6%、イスラム教9.7%、
ジャイナ教1.0%、キリスト教0.5%他



政治

（1）州政府

- * 州知事：アーチャーリヤ・デヴヴラット（Acharya Devvrat）
（2019年7月22日～）
- * 州首相：ブペンドラバイ・パテル（Bhupendrabhai Petel）（BJP）
（2022年12月12日、第2期目就任）

（2）州議会：一院制（任期5年、182議席）

- * 与党：インド人民党（BJP）156
- * 野党：国民会議派（INC）17、その他9

（3）概況

1995年まで国民会議派が長年政権を担っていたが、同年の州議会選挙でBJPが勝利し、BJPが州政権を維持。2001年から2014年まではモディ首相が州首相を務めていた。その後、パテル州首相からルパニ州首相へ2年弱、ルパニ州首相からパテル州首相へ3年強で政権が引き継がれ、2022年の州議会選挙でBJPが圧勝し、パテル州首相が2期目を続投することとなった。BJPは、連邦下院の同州割当の26議席中25議席を獲得しており、同州において強い基盤を有し、支持を集めている。

経済・産業

(1) 主要指標

- * 州内総生産(GSDP)：24兆4245億ルピー(2022/23年度)
- * 実質GSDP前年度比成長率：13.03% (2022/23年度)
- * 海外直接投資 (FDI) 流入額：3705億9千万ルピー (2022年)

(2) 特徴と概況

インド有数の工業地帯で、同州の工業生産額はインド全体の18.01%、輸出額はインド全体の20%以上を占め、インド全体の石油化学製品の約3割、化学製品と医薬品のそれぞれ約4割が同州で生産されている。長い海岸線を有することから港湾業が発達しており、伝統的に製塩業も盛んで国内生産の約8割を占めている。また、石灰石、原油、天然ガスが産出される他、ダイヤモンド産業も根付いている。更に、近年ではスズキ自動車が同州第一工場、第二工場を稼働させるなど、自動車産業のハブともなっている。

モディ首相が州首相当時開始した投資促進イベント「バイブラント・グジャラート」が隔年開催され、最近では参加者数が1万人を超える巨大イベントとなっている。

日本との関係

*在留邦人：425名 (内アーメダバード市340名) (2024年10月現在)

進出日本企業：39社、358拠点 (2022年10月現在)

*アーメダバード日本人会：会員数235名 (2024年8月現在)

*グジャラート印日友好協会：会員数255名 (2024年2月現在)

*主な進出企業は、大塚製薬、ロート製薬、三菱重工業、千代田化工建設、日立、スズキ、ホンダ、東レ、パナソニックなど

経済協力 (主な円借款事業)：ムンバイ・アーメダバード高速鉄道計画、アーメダバード・メトロ事業、グジャラート州森林開発計画

地方自治体間交流：グジャラート州・兵庫県友好提携 (2016年)

神戸市・アーメダバード市経済連携 (2020年)

要人往来：2017年9月に安倍総理、2023年7月に菅前総理がアーメダバード訪問、2023年11月にパテル州首相が訪日

。

<日印関係史こぼれ話>

東大寺大仏開眼にあたった渡来僧、菩提僊那と仏哲

天平勝宝4年（西暦752年）4月9日、東大寺盧舎那仏の開眼会が開かれた。この開眼の導師を務めた菩提僊那（ボダイセンナ）が日本に渡来した最初のインド人であるということは、かなり知られるようになってきた。

この菩提僊那が当時、インドから唐にどう渡ったかは定かでないが、第9次遣唐使船で唐に赴いた普照と栄叡の求めに応じ、唐僧道セン、林邑（リンユウ）僧仏哲らとともに日本に渡来した。これは仏教伝戒の師を求めようとした聖武天皇の意向を受けたものであった。九州の太宰府に到達したのは736年のこと、鑑真和上の渡来より18年前であり、754年には渡来したばかりの鑑真和上を慰問したとも伝えられる。菩提僊那の弟子が記した「南天竺婆羅門僧正碑並序」などの文献資料からインド出身であろうことがほぼ特定される。これら渡来僧は、当時、800人以上の僧侶が居住して仏法の勉強修行に励んでいた大安寺に滞在し、日本の僧侶達への仏法指南をした。中でも、菩提僊那は、陀羅尼（ダラニ）、密教に通じていたとされ、「悉曇（シッターン）：サンスクリットの唱文」を伝授していたと考えられる。そして、東大寺大仏開眼会では、菩提僊那が導師、道センが呪願師を務め、仏哲が林邑楽を披露した。



仏哲は、「林邑」（現在のベトナム南部にあった国）にあたるチャンパ出身というのが通説だが、「北天竺」にあったチャンパ出身ではないかとの指摘もある。当時は今日のインドやベトナムといった国の国境はなく、同人がインド人かベトナム人かを判別することの是非や可否には議論の余地がある。しかし、菩提僊那と共に渡来し、大安寺で悉曇（サンスクリット）を教えたことなどから、インドとの関係が極めて深い人物であったことは確かである。少なくとも、「仏哲は、インドと中国の両文化を積極的に摂取し、同時にそれを他の地域に伝播するという役割を果たした」人物とすることができる。（引用は、大西和彦「日越交流における林邑僧仏哲の事跡」より）なお、舞楽・雅楽は、その伝来ルートから左方・中国系統の唐楽と右方・朝鮮半島系統の高麗楽に大きく分けられているが、仏哲が伝えたと言われる林邑楽は、左方に分けられ、菩薩や抜頭といった演目が今日に伝えられている。

東大寺や大安寺に詣でる機会があれば、菩提僊那や仏哲の渡来にも思いを馳せてみたい。
（多賀政幸記）

<書籍紹介>

「バガヴァッド・ギーター・ヒンドゥー教の聖典」

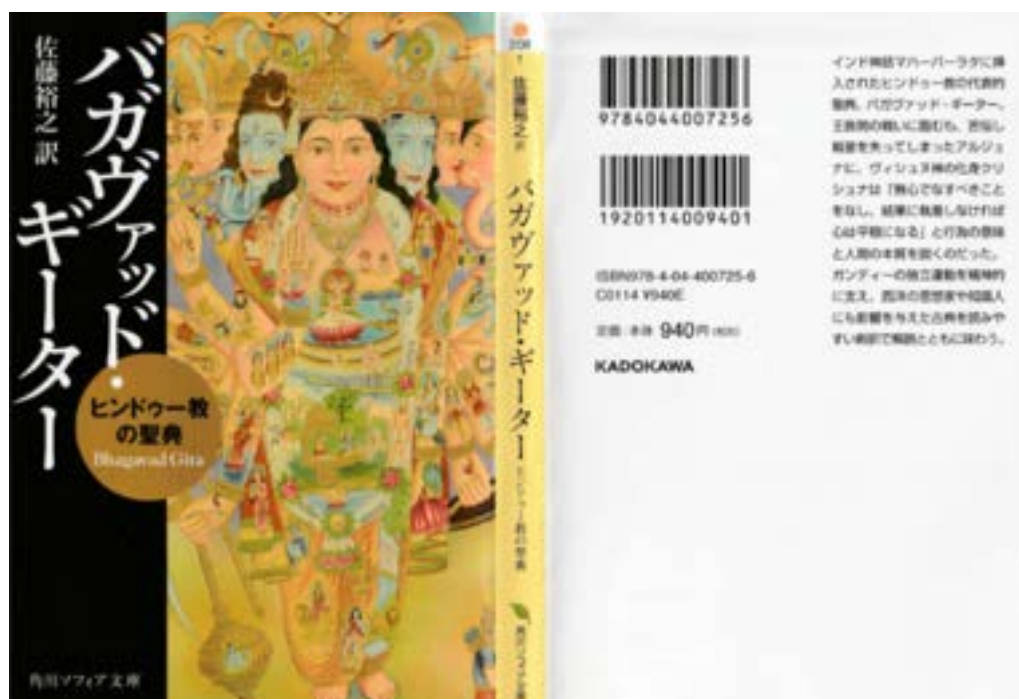
佐藤裕之訳

バガヴァッド・ギーターはヒンドゥー教の最も代表的な聖典であり、ヒンドゥー教徒は日々の生活の中でも唱え、心の支えとしている。従って、バガヴァッド・ギーターなしにヒンドゥー教の教えを知る、インドを知るためには、バガヴァッド・ギーターを理解することが大事である。

バガヴァッド・ギーターの日本語訳は幾つか出版されているが、本書は読みやすい訳出とともに、バガヴァッド・ギーターが書かれているマハーバーラタの概要、バラモン教とヒンドゥー教を中心としたインド思想の解説も添えられている。

ヒンドゥー教徒のインド人と親しくなると必ずといってよいほど、バガヴァッド・ギーターに言及される。本書を読んだ上でそうしたインド人と接すればより深い人間関係が築けるだろう。

訳者は、インドのサンプルルナ・アーナンド・サンスクリット大学に留学した経験がある東京大学大学院卒の文学博士であり。大学で教鞭を執る傍ら有名なインド映画の日本語字幕をつけ紹介する活動もしている。



日印協会からのご案内

「天竺茶話会」

講師の方を招いて、あらかじめ決めたテーマで参加者の方々と話し合うお茶会です。

インド通の方、もっともっとインドについて知りたい方、インドについて詳しくなりたい方、皆様のご参加をお待ちしております。

どうぞお気軽にご参加ください。

- 《テーマ》 「インドの安全保障関連のお話し」（仮題）
- 《講師》 長崎大学准教授 清田智子先生
- 《日時》 2025年2月26日(水) 14時00分~15時30分
(受付開始13時45分)
- 《会場》 公益財団法人日印協会 会議室
東京都千代田区麴町1-6 麴町保坂ビル 6階
- 《定員》 約18人※定員数になり次第、締切らせて頂きます。
- 《参加費》 お茶菓子とお茶代 1,000円(当日現金)
- 《お申し込み》 メール「partner@japan-india.com」
または、電話 TEL: 03-6272-4408

公益財団法人日印協会

住所： 〒102-0083 東京都千代田区麴町1-6 麴町保坂ビル6階
 電話番号： 03-6272-4408 ファックス： 03-6272-4135
 メール： partner@japan-india.com
 ホームページ： <https://www.japan-india.com>

MJIA(Monthly Japan-India Association)

2025年1月号（2025年1月24日発行）

発行人：齋木 昭隆 編集協力：夢賀 政幸

旧
月刊 インド

<法人会員一覧>

2024年12月現在 (50音順)

特別法人会員 73社

株式会社 朝日新聞社
ARMS株式会社
医療法人社団 育健会
株式会社伊藤園
伊藤忠商事株式会社
ウェブスタッフ株式会社
弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所
エア・ウォーター株式会社
株式会社エイチシーエル・ジャパン
株式会社SMI
株式会社NTTドコモ
ASA CORPORATE CATALYST INDIA PVT.LTD.
株式会社川内美登子・植物代替療法研究所
キヤノン株式会社
蔵町工業株式会社
黒崎播磨株式会社
株式会社グローバルヒューマニー・テック
国際縄文学協会
国際スポーツ振興協会
公益財団法人 国際文化会館
小島国際法律事務所
株式会社小松製作所
サントリーホールディングス株式会社

株式会社シンリョー
ジャパンペガサスツアー株式会社
スズキ株式会社
住友商事株式会社
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
世界開発協力機構
世界芸術文化振興協会
全日本空輸株式会社
総合警備保障株式会社
双日株式会社
第一三共株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社大和証券グループ本社
千代田化工建設株式会社
ティー・アイ・シー協同組合
株式会社ディー・エヌ・エー
DENNYS WORLD PUBLIC CHARITABLE TRUST
一般財団法人東京芸術財団
株式会社東芝
株式会社東横インホテル企画開発
戸田建設株式会社
豊田通商株式会社
鳥飼総合法律事務所
日本航空株式会社
株式会社日本視聴覚社

日本製鉄株式会社
日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社菱法律・経済・政治研究所
株式会社日立製作所
フィデル・テクノロジーズ株式会社
株式会社フジタ
富士フィルム株式会社
株式会社プレジール
ポラリス・キャピタル・グループ株式会社
松田綜合法律事務所
丸紅株式会社
株式会社ミスズ
三井物産株式会社
三菱商事株式会社
みなとみらい特許事務所
民間外交推進協会 (FEC)
武蔵野メディカル株式会社
株式会社メタルワン
株式会社ライズ・ジャパン
ランブの宿株式会社
リッキービジネスソリューション株式会社

一般法人会員 138社

株式会社IHI
株式会社IPパートナーズ
株式会社アシックス
アセアン・フィナンシャル・ホールディングス株式会社
A'ALDA PTE. LTD.
株式会社 安藤・間
アーチ株式会社
一般社団法人 ART OF LIVING
いすゞ自動車株式会社
株式会社INPEX
エア・インディア リミテッド
SBSホールディングス株式会社
株式会社エトワール海渡
株式会社FTO
エンビジョンエンタプライズソリューションズジャパン(株)
沖印友好協会
株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
株式会社オリエンタルランド
オーウィル株式会社
株式会社オープンハウスグループ
加賀電子株式会社
鹿島建設株式会社
関西学院大学
亀田製菓株式会社
株式会社クボタ
株式会社熊谷組
株式会社 啓文社
株式会社 ケー・アンド・エル
鴻池運輸株式会社
株式会社交洋
株式会社講談社
酒井重工業株式会社
株式会社 サカタのタネ
公益財団法人 笹川平和財団
株式会社 サンウェル
山九株式会社
産経新聞 東京本社 正論調査室
三洋化成工業株式会社
G-8 INTERNATIONAL TRADING 株式会社
JFEスチール株式会社
JGREEN POWER PRIVATE LIMITED
株式会社ジェイティービー

株式会社システムコンサルタント
株式会社静岡ガス
株式会社静岡銀行
有限会社シタール
品川イーストクリニック
有限会社ジューストラベル
株式会社商船三井
鈴与株式会社
住友重機械工業株式会社
住友電気工業株式会社
住友不動産株式会社
積水ハウス株式会社
セコム医療システム株式会社
ZEUS LAW
医療法人社団創生会 町田病院
SOMPOホールディングス株式会社
株式会社タマインベストメントエデュケーションズ
大成建設株式会社
ダイキン工業株式会社
露木興業株式会社
TMI総合法律事務所
ティー・ディー・パワーシステムズ・リミテッド
株式会社 帝国ホテル
帝人株式会社
株式会社テクノロジーONE
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社デンソー
TECH JAPAN 株式会社
株式会社TBSホールディングス
株式会社電通
東京海上日動火災保険株式会社
東洋アルミニウム株式会社
東レ株式会社
飛鳥建設株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社トピア
トランス・コスモス株式会社
内外トランスライン株式会社
株式会社中村屋
株式会社ナベル
株式会社ニフコ
西村あさひ法律事務所
日印ビジネス支援協会株式会社
日産自動車株式会社
日精工エー・エス・ビー機械株式会社
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
日本信号株式会社

日本経営ウイール税理士法人
株式会社 日本経済新聞社
日本航空電子工業株式会社
益財団法人日本交通公社
一般財団法人 日本国際協力センター
日本テレビ放送網株式会社
日本電気株式会社
日本放送協会
日本郵船株式会社
日本電子株式会社
野村不動産株式会社
野村ホールディングス株式会社
株式会社ノリタケカンパニーリミテド
ハイカル ジャパン
株式会社ハウラー
株式会社博報堂
株式会社 阪急交通社
阪和興業株式会社
パナソニックホールディングス株式会社
日立造船株式会社
株式会社日吉
株式会社ピーアイ・ジャパン
Beyond Next Ventures株式会社
株式会社BS日本
公益財団法人フォーリン・プレスセンター
富士通株式会社
株式会社フジテレビジョン
富士電機株式会社
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
株式会社ポルテックス
前田建設工業株式会社
株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社 三菱地所設計
三菱重工業株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社ミツバ
森・濱田松本法律事務所
株式会社ヤクルト本社
株式会社安井建築設計事務所
ヤマハ発動機株式会社
ユービーエルジャパン合同会社
読売新聞東京本社
ラリス株式会社
学校法人立命館
ロジスティード株式会社
YKK株式会社



新しい翼で、世界の空へ。

JAL 羽田-デリー線、成田-ベンガルール線
好評運航中!



おかげさまでJALグループは、6年連続で
世界最高ランクの5-STAR AIRLINE*に認定されました。

*SKYTRAXER



明日の空へ、日本の翼